

AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学学術情報センターだより 第27号

CONTENTS:

- ♪ テサロニキ・アリストテレス大学
- ♪ e-learning 学習システムで英語力を高めよう
- ♪ 視聴覚ライブラリー映像資料紹介 英米・ロシア編
- ♪ よくある質問 情報メディア班
- ♪ ILLの手続きが簡素化されます
- ♪ よくある質問 学術情報班
- ♪ 活動記録
- ♪ 編集後記

テサロニキ・アリストテレス大学

阿部 晃直

35年前、話し言葉はおろか、 α 、 β 、 γ など数学に出て来たたった5つの文字しか知らずにギリシャに行った。それも旅行者としてではなく、留学生としてだったのだから、今考えても随分無謀だった。英語の通用度が低く、生活のために早く現地の言葉を学ぶ必要があった。当時この国は、ダイグロシア（一つの言語の2変種を使い分ける）状態で、本格的な勉強をするには書き言葉（これを講義や演説など公式な伝達に使う者が多くいたので）も学ばねばならなかった。しかし、ギリシャ人ですら多くが落ちこぼれたこの言語変種に対する私の動機付けは極めて低く、奨学金のための試験をパス

したら早々と投げ出してしまっ、もっぱら日常語の使用に埋没して、丸3年も学生生活を送ることになった。

10年余り前イギリスに行ったとき数ヶ月間ギリシャからの留学生との間でかつて習ったギリシャ語を日常的に使う機会があったが、この国の様変わりを追いかけることはしなかった。今回、言葉が出来るからと愚かにも高を括り、かつての牧歌的なギリシャのイメージのまま降り立ってしまった。

テサロニキ・アリストテレス大学（北部にあるこの国最大の総合大学、ホームページによると学部生86000人、院生9000人）哲学部言語学学科、そこで長い

年月の後今度は研究員として勉強することになった。大学は校舎が増えて広大な芝生はなくなり、縦横に走る学内の通路には車が溢れかえり、そこここに大型の野犬がうろついて汚物を残していた。まるでテサロニキの街の縮図だった。大気汚染をはじめ、著しい環境の劣化が起っていた。富裕層はみんな郊外に引越し、街中には取り残された貧しい老人と移民と学生が住んでいた。私（老人？）も彼らの仲間入りをした。

大学には中央図書館と各学科の図書室がある。前者には学生用と教員用の読書室がそれぞれ別個にあり、またコンピューター室もある。学生読書室（収容力1300）は、通常朝8時から夜10時まで、また試験期間中は夜半の12時まで（ただし、夏・冬・春の休み中は、朝8時から午後2時まで）開いている。私がおっぱら利用したのは後者の方で、毎日行ったのは、言語学学科の図書室（開架で読書室と一緒にいる）だった。時折英語英文学科やイタリア語イタリア文学科それにドイツ語ドイツ文学科にも（英語の本だけ）借りに行った。

学科の図書室に毎日顔を出したのには理由があった。朝8時15分には着いて、司書のエレニさんか、事務のワゲリッアさんから研究室の鍵を借りなければならなかった。そして、自分の部屋に行き、わからないギリシャ語の質問や雑談、昼食買いなどに出かけるとき以外は夕方5時直前（7時、ときには9時まで開いているが、5時には鍵を返す約束になって

いた）まで本を読んだり、LANに繋がって資料集めをした。

そのような資料からギリシャの英語学習の状況を拾ってみよう。Ta Nea という新聞の、少し古いが、1998年の記事によると、1年生では10%あまり、3年生では60%が英会話学校ですでに習っている。最近公立の小学校では開始が1年早くなって3年生から英語が教えられることになったため、会話学校通いの低年齢化が進んだと言われている。また、2004年の記事では、5,6年生の93%が英会話学校に通っていると報じられている。

多くの子供たちは、高校の2,3年生で大学入試の勉強を始める前にCambridgeのFCE (Lower) のような資格を取って、外国語は、その専攻に進むのでない限り、一休み。大学内で私が行った小さな調査では、54人中43人がこれを持っていたし、14人が一番上のCPEも取っていた（被験者のうち英語・英文学専攻は4人で、2人はFCEだけだった）。

親は、会話学校の授業料に、初級クラスで年700ユーロ、Lowerコースは1200ユーロ、そしてProficiencyコースなら1500ユーロ以上を出費しなければならない。全国の親が払うこうした費用は、年8億ユーロにのぼると言うから、膨大な額である。

（あべ てるなお 本学教授）

神戸市外国語大学e-learning学習システム アルクネットアカデミーで英語力を高めよう

野村 和宏

e-ラーニング学習システムの導入

コンピュータやネットワーク技術の進歩により語学学習にも新しい方法が現実のものとなりました。教室で先生と共に学ぶ共同学習とは異なり、学習者一人ひとりの能力や学習進度に合わせて効果的に学習を進めることができるe-ラーニングシステムが外大にも導入されました。このシステムはアルク教育社の「ネットアカデミー」というもので、全国の多くの大学で既に実績を積み重ねているものです。外大学内のコンピュータ、ネットワーク環境の整備にタイミングを合わせる形で最新の「スーパースタANDARDコース」を用意しています。これは基礎レベルから上級レベルまで幅広く対応し、2006年にリニューアルした新TOEIC®テスト問題形式も視野に入れた学習ができるように構成されています。

コース概要

スーパースタANDARDコースは、大きくレベル診断テスト、リスニング、リーディング、TOEIC®テスト演習の4つのセクションから構成されています。

レベル診断テストによりコース開始時点の力をチェックします。語彙診断テストはいわゆる項目応答理論により学習者の正解・不正解により問題の難易度を絞り込みながら出題し正確な力を測定するようにプログラムされています。またリ

スニング診断テストではTOEIC®テスト形式でリスニング力を測定します。レベル診断テストは2セット用意されているため、学習開始時点の診断に加え学習終了時点でも学習成果を確認できます。

リスニングセクションは8つのステップがあり、ステップ1からステップ5が通常モード、ステップ6からステップ8がアドバンスモードとなっています。聞き取れる音と聞き取れない音の区別から始まり、内容理解、速度を変化させての速聴やシャドーイングの訓練、ディクテーションや並べ替えなど、多面的なリスニング力向上のためのプログラムが組み込まれています。

リーディングセクションもリスニング同様に8つのステップがあり、自分のリーディングスピードの測定から始まり、内容理解、フレーズやキーワードを追いつながりのスピードリーディングのトレーニング、単語・熟語の確認など読解力をつける様々な問題形式があります。

最後のTOEIC®テスト問題では2006年5月にリニューアルされた新TOEIC®テストに対応しているため本番のテストの流れと各パートの特徴を体験することができます。解答した後はすぐに採点画面が表示され、リスニング、リーディングの正解率もグラフ化されるので、自分の弱点を明確につかむことができます。また間違えた問題に再挑戦することで、

弱点を徹底補強することができます。

さらに道場という名前の語彙力増強セッションがあり、12,000語に及ぶ語彙を学習することができます。また学習者ランキングに参加登録することで、友達と励まし競い合いながら学習を進めることができるようになっていきます。スーパースタンダードコースに用意されている全問題のクリアを目指してがんばりましょう。

一週間に一度、教室という空間で90分の授業時間を共有しながら、先生やクラスの友達と共に学ぶ共同学習とは異なり、個人の能力・進度に合わせた完全な個別学習が可能となっています。スポーツをしたことがある人ならば、ランニングや素振りといった基礎体力訓練の重要性は十分に理解していると思います。こうしたe-ラーニングシステムのよさは英語に関しての基礎体力訓練を思う存分に自分のペースで行うことができる点にあります。現在は外大の特定の授業と連携させることなく、あくまでも学生のみなさんの自主的な学習に任せています。この素晴らしい学習環境を生かすも殺すもみなさんの取り組み次第です。外大の学生として自信を持って語ることのできる英語実践能力を磨いてください。

学習可能時間帯、教室

ネットアカデミーは「第3AV教室」「第5AV教室」「CAI教室」で利用できますが、現在は主にCAI教室を中心に次の時間帯を自由に学習できる時間帯として開放しています。WindowsのWebブラウ

ザInternet Explorerを用いて学習しますので、CAI教室ではパソコンOSの切り替えスイッチのWindowsボタンを押してから利用してください。

CAI 教室開放時間帯（授業期間中）*

月曜日	9:00～12:00	17:30～21:00
火曜日	9:00～14:00	19:30～21:00
水曜日	12:30～21:00	
木曜日	9:00～21:00	
金曜日	9:00～14:00	19:30～21:00

*長期休業中のCAI教室の利用については、掲示板とホームページで確認してください。

コースには聞き取りの練習がありますので、まず共同研究棟2階の情報メディア班(視聴覚ライブラリー)でヘッドセットを借りてください。また第3AV教室と第5AV教室は通常の授業で用いる時間帯が多いため、学習が可能かどうかは情報メディア班(視聴覚ライブラリー)へ問い合わせてください。

学習の開始から終了まで

パソコンの起動から学習、そして終了への手順と学習方法を説明したパンフレットを既に各学科の専攻の授業等を通して配布しています。また外大ホームページからも学習ガイドを閲覧できるようになっています。操作方法等に関する質問がある場合は、情報メディア班(視聴覚ライブラリー)へ問い合わせてください。みなさんの学習成果が上がりますことを願っています。

(のむら かずひろ 本学教授)

視聴覚ライブラリー映像資料紹介 英米・ロシア篇

イスパニア学科 4年

共同研究棟2階の視聴覚ライブラリーでは、数多くの映像・音声資料を所蔵しています。視聴覚ライブラリーをよく利用される在学生に本学専攻語の映画のなかから、おすすめの映画をご紹介します。今回は「英米・ロシア篇」です。

『スモーク』

今や現代アメリカ文学の代名詞的存在であるポール・オースター脚本の作品『スモーク』(1995)。ニューヨーク、ブルックリンのとあるタバコ屋。そこに集う人々。他愛のない会話が交わされ、ありふれた毎日がいつもと同じように過ぎてゆく。そんな一見平凡な人々が心のうちに秘めているドラマチックな体験が、一件のタバコ屋を中心にして様々に語られる。

この映画はストーリーだけでなくキャスティングもみどころである。タバコ屋の主人には『タクシードライバー』(1976)にも出演したハーヴェイ・カイテル、作家ポール・ベンジャミン役には『蜘蛛女のキス』(1985)のウィリアム・ハート、そして黒人少年の父親役にアカデミー主演男優賞のフォレスト・ウィテカーが出演している。とにかく愛煙家にも嫌煙家にもぜひとも観ていただきたい。

『コーヒー&シガレッツ』

『ナイト・オン・ザ・プラネット』

「スモーク」と言えばタバコだが、タバコで思い出す映画に、ジム・ジャームッシュ監督の『コーヒー&シガレッツ』

(2003)がある。11の短編からなるこの映画は、様々な登場人物たちが、ただタバコを吸いコーヒーを飲む様子をひたすら見るだけのものだ。その中には、『ライフ・イズ・ビューティフル』(1998)のロベルト・ベニーニ、パンクロック歌手のイギー・ポップ、そして一人二役を演じているケイト・ブランシェットなどが実名で登場している。あまりにも単純な構成だが、だからこそそれぞれの人間関係やユーモアが映え、非常に愉快である。

同監督の『ナイト・オン・ザ・プラネット』(1991)では、ロサンゼルス、パリ、ヘルシンキ、ローマ、ニューヨークを舞台に、各都市のタクシー運転手とその乗客の模様を、ユーモラスで、ときにはシニカルな視点から描いている。この映画は、タクシーの中という平凡でありふれたシチュエーションを取り上げているにもかかわらず、登場人物たちの個性や人柄が魅力的で、どんどん映画の中に入り込んでゆく。また、それぞれの都市に対して抱く印象がそのまま登場人物たちとうまく反映されており、粋だなあとなんだか感心してしまう一本だ。

『不思議惑星キン・ザ・ザ』

ところであなたは地球のクロス番号、もしくはスパイラル番号をご存知だろうか？殺伐とした風景と、なにかそわそわするような音楽で始まる旧ソ連のカルト映画『不思議惑星キン・ザ・ザ』(1986)。旧ソ連のカルト映画というだけで早くも期待してしまうが、果たしてその期待以上に奇妙奇天烈で強烈な世界に引き込まれてゆく。本編開始わずか5分で観ているこちらをも未知の空間へと連れ去ってゆく。登場人物たちの鈍さと、予測不可能な展開の鋭さが絶妙に融合した作品で

ある。信じられないような価値観、不条理でさえある世界。しかしそうかんじるのは、われわれ地球人の一方的な見解にすぎない。それでもけっきょく最後に通じ合うものは何かといえば、それはやはり人間的なものなのだ。徹底的に可笑しくユニークなこの映画はだから、逆にとっても哲学的なのかもしれない。一人で観ても十分楽しい映画だが、その楽しさを共有するために、観た人は必ず誰かに勧めてほしい。

次号(2008年6月刊行予定)は「中国・イスパニア篇」です。お楽しみに。

上記で紹介された作品はすべて共同研究棟2階の視聴覚ライブラリーで視聴することができます。各作品の請求番号と媒体の種類等は以下のとおりです。

スモーク	VAMo1065	L D	113分
コーヒー&シガレッツ	VAMo1640	D V D	97分
ナイト・オン・ザ・プラネット	VAMo1076	L D	129分
不思議惑星キン・ザ・ザ	VRMo200	D V D	134分

視聴するには、受付カウンターで申込用紙「視聴覚資料利用申請書」に必要事項(タイトル・請求記号・媒体の種類等)をご記入の上、学生証とあわせて提出してください。

ライブラリーの開室時間は、授業期間中は平日 9:30~21:00、休暇期間中は平日 9:30~16:30 です。なお、開室時間は変更される場合があります。開室カレンダーは視聴覚ライブラリーのウェブサイト*で確認することができます。

*視聴覚ライブラリーウェブサイト

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/ja/AV/index.htm>



よくある質問 情報メディア班

Q.1 自宅で作成した Word ファイルが、CAI 教室で開けないのですが・・・

A 原因はファイルを作成した Office のバージョンが 2007 だったということが考えられます。

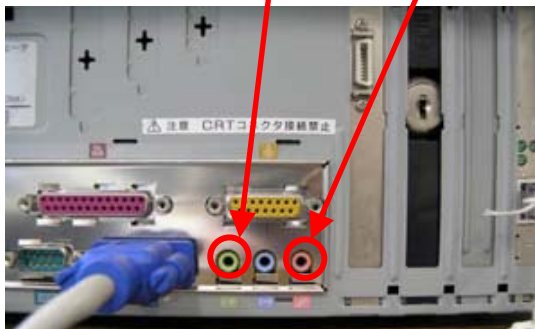
2007 年 1 月 30 日に Microsoft の新 OS 「Windows Vista」と同時に登場したのが Microsoft Office の新バージョン「Office 2007」です。「Office 2007」で作成し、初期設定のまま保存したファイルは、旧バージョンの Excel や Word では開くことができません。現在、CAI 教室、3AV、5AV 教室には旧バージョンの Office2003 がインストールされています。この問題はファイル保存時に「Word 97-2003 文書」(Word の場合)という下位バージョン互換形式で保存することによって回避できますので、皆さんのパソコンにインストールされている Office のバージョンを一度確認してみてください。

なお、ソフトのバージョン違いによる互換性の問題は、Officeにかぎらず注意が必要です。これを機に普段使用しているソフトのバージョンにも目を向けてみてください。

Q.2 CAI 教室のヘッドセットから音が聞こえません。

A1 CAI 教室で、アルクネットアカデミーの聞き取り学習を行う際、パソコン前面にある差込口にヘッドセットを接続するといった間違いをされる方が多いようです。

パソコン背面のヘッドホン・マイクジャックに正しく接続して下さい。



A2 貸出用ヘッドセットには、コード中ほどにボリュームコントローラがありますが、ボリュームを絞っている場合があります。

ヘッドセットは情報メディア班（視聴覚ライブラリー）で貸出しを行っていますが、モバイルプレイヤー等のイヤホン・ヘッドホン（3.5mm ミニプラグ）をお持ちの方は、そちらを使用することも可能です。

Q.3 学内LANにログインできないのですが・・・

A 初めて学内LANを利用される方から、ログインできないという問い合わせがよくありますが、原因の多くは以下の3点に絞ることができます。

1 ユーザ名の一文字目が大文字になっている。

アカウントのユーザ名は、学籍番号ですが、一文字目のアルファベットは小文字で入力して下さい。

2 Caps Lock がONになっている。

ユーザ名、パスワードは大文字と小文字を区別します。キーボードのCaps LockがONになっていると、小文字で入力したつもりが大文字に、大文字で入力したつもりが小文字になってしまいます。

3 パスワードの入力間違い。

パスワードに入力した文字はすべて伏せ字『*』で表示されます。パスワードは、大文字、小文字、数字が含まれますので、パスワードの読みを参考に間違えないように、慎重に入力して下さい。

上記3点に間違いがないと思われるにもかかわらずログインできない場合は、情報メディ

Q.4 学内でプリンタの使える場所がありますか？

A 学生会館2階、または学生課ロビーのプリンタをご利用下さい。なお、プリント用紙は各自で用意して下さい。

また、CAI教室、3AV、5AV教室にもプリンタが設置されていますが、原則的に授業用です。



(情報メディア班 鶴目)

ILL の手続きが簡素化されます 相殺制度への参加について

この12月より学術情報センターは国立情報学研究所の管理する文献複写・現物貸借における相殺制度に参加します。センターがこの制度に参加することにより他大学から複写物・図書を取り寄せた場合の、窓口で受け取る時の手続きが一部簡素化されます。

「相殺」という言葉は事務取り扱いの観点から示した表現です。これまで他大学に依頼した場合は相手先と1対1の関係にありました。今後は国立情報学研究所が相殺参加大学間のやりとりを一括管理するため、一定期間蓄積した債務（こちらから依頼した分）・債権（先方から受付た分）を相殺して各大学に通知し、参加館は一度で支払い等を済ませることが出来ます。

これを利用者の立場に置き換えると文献複写については従来の、依頼するたびに郵便局・銀行に足を運んで入金する手間がなくなり、センターの窓口で現金払いするだけで 複写物を手にすることが

できます。これまで必要だった振込手数料もかかりません。

一方、現物貸借は従来、往復送料を切手でいただいていたが、今後は先方からの送料は現金、先方への返送料は切手で納めていただくことになります。これは先方への返送料については相殺の対象から外れるため、従来の形を維持することによります。

なお、この手続きが成り立つには相手先も相殺制度に加入していることが条件です。現在やりとりしている大学の9割程度は参加館ですが、たまたま非参加館とのやりとりになった場合は従来どおりの手続きになります。

また、相殺制度に参加することにより、現在先生方が公費処理されている分の扱いについては変更ありません。

(学術情報班 梶村)



よくある質問 学術情報班

Q.1 ILL って何ですか？

A ILL(アイエルエル)とは、Interlibrary Loan の略で、「図書館間相互貸借」と訳されます。本来利用すべき図書館(=外大図書館)にない資料を他の図書館などから取り寄せるサービスのことです。ILLには、図書そのものを借りる「現物貸借」と文献のコピーを取り寄せる「文献複写」の2つのサービスがあります。

ILL

現物貸借：図書現物を取り寄せ

文献複写：文献のコピーを取り寄せ

Q.2 ILL を利用するのに費用はかかりますか？

A 当館で利用できる ILL サービスには、費用のかかるものと、かからないものがあります。以下のサービスのうち、①は無料ですが、②③は有料です。郵送料・複写料を実費でご負担いただきます。

①[無料]現物貸借(神戸市立図書館から取り寄せ)

②[有料]現物貸借(他大学図書館・国立国会図書館から取り寄せ)

③[有料]文献複写(他大学図書館・国立国会図書館から取り寄せ)

特に、現物貸借(①または②)を利用するときには注意が必要です。どちらの資料を取り寄せるのか必ずカウンターにお伝えください。

Q.3 費用はどのくらいかかりますか？

A (1)現物貸借の場合

郵送料を負担していただきます(ゆうメール[冊子小包]+簡易書留)。郵送料は資料の重さにより変わります。通常920~1400円の範囲内ですが、資料によりこれを超える場合があります。

(2)文献複写の場合

複写料+郵送料がかかります。複写料は1枚30~50円で、郵送料は通常120~390円です。場合によっては、これを超えることがあります。

Q.4 資料はどのくらいの日数で届きますか？

A お申し込み後3~10日で届きます。先方の事情により、さらに日数がかかる場合があります。

Q.5 資料はどのくらいの期間で借りられますか？

A 資料到着後1~3週間借りられます。資料を受け取るのが遅くなるほど、貸出期間が短くなります。資料到着の通知を受けたら、すみやかに取りに来てください。



(学術情報班 飯島)

- 4月1日 センター長就任 益岡隆志教授
学術情報センターに改称
データベース「聞蔵 II ビジュアル」導入
- 4日 第5AV教室 CALL システム操作説明会
- 5日 図書館オリエンテーション実施 (学部・大学院)
- 7日 図書館オリエンテーション実施 (大学院・英語教育学専攻)
- 5月7日 OPAC レシートプリンタ設置
- 23日 高校見学受け入れ
- 30日 神戸研究学園都市大学交流推進協議会図書館部会 1名派遣
- 31日-6月1日 公立大学協会図書館協議会事務長会/総会 1名派遣
- 6月13日 高校見学受け入れ
- 30日 広報誌「AD ALTIORA SEMPER」第26号発行
- 7月4日-6日 情報セキュリティ担当者研修 1名派遣
- 10日 電子情報セミナー2007/2008 1名派遣
高校見学受け入れ
- 11日 第5AV教室 CALL システム操作説明会
- 12日 高校見学受け入れ
- 23日 兵庫県大学図書館協議会総会 3名派遣
- 25日-27日 ネットワークセキュリティ担当者研修 1名派遣
- 27日 XooNIps 研究会第2回ワークショップ 1名派遣
- 31日-9月27日 図書館一般開放
- 8月3日 ジャーナルセミナー2007 1名派遣
- 5日 オープンキャンパス施設開放・外国語図書展示
- 13-20日 蔵書点検
- 19日 オープンキャンパス施設開放・外国語図書展示
- 21日 トルストイ生誕百周年記念全集展示
- 22日 トムソンサイエンティフィックフォーラム大阪 1名派遣
- 9月4日 教育著作権セミナー 1名派遣
- 25日 図書館とN I Iの集い 1名派遣

編集後記

前号の本欄で、情報メディア系の業務に関連して図書館の名称変更についての意味に少しふれましたが、今回の内容は、野村先生による、英語力を高めるための e-learning 学習システム「アルクネットアカデミー」の紹介や、学内 LAN とそれに関連した、おもに学生さんの日頃の利用についての FAQ、さらに視聴覚ライブラリーの heavy user の在学学生によるおすすめ映画紹介と、学術情報センターを楯岡組織にたとえば、その二つの中心の一つともいえる情報メディア班の活動についての記事が多くを占めています。

世界中のさまざまな国でさまざまな映画が作られ、日本にも毎年多くの興味深い映画が紹介されます。ある国の文化総体の中で、その国のくにおい>といったものを、最もヴィヴィッドに表現できるのではない

かと思われる映画、たとえば阿部先生が在外研究で滞在されたテサロニキ・アリストテレス大学という名前を聞いて、ギリシャを代表する映画監督の一人であるテオ・アンゲロプロスの、長大なく長回し>による深い映像美をたたえた諸篇を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。

映画は作品としてそれ自体が完結しているものであり、映画を何か他の目的で観ることが邪道であることを前提としながら、視聴覚ライブラリーの映像資料を、語学習得のサポートや、その国の持つ文化の奥深さを理解する助けとしても役立てていただくことは十分意味あることではないかと思っています。

編集責任者：学術情報センターグループ長
牛原秀治

AD ALTIORA SEMPER No.27 神戸市外国語大学学術情報センターだより

「AD ALTIORA SEMPER」とはラテン語で「常により高きを求めて」という意味です

編集・発行：神戸市外国語大学学術情報センター

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

TEL: 078-794-8151 / FAX: 078-797-2257

E-MAIL: info@lib.kobe-cufs.ac.jp

URL: <http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/>

2007年11月30日発行

発行責任者：センター長 益岡隆志